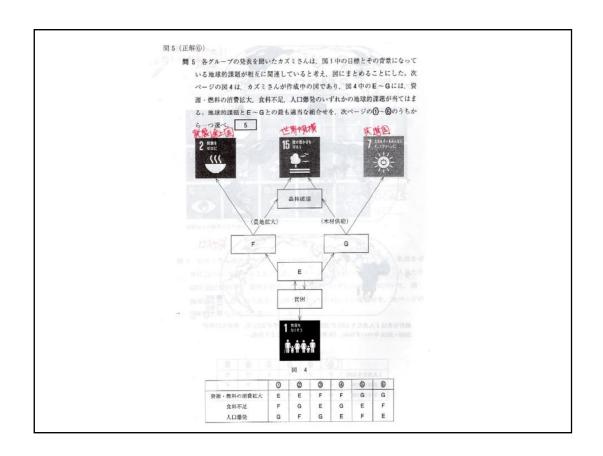
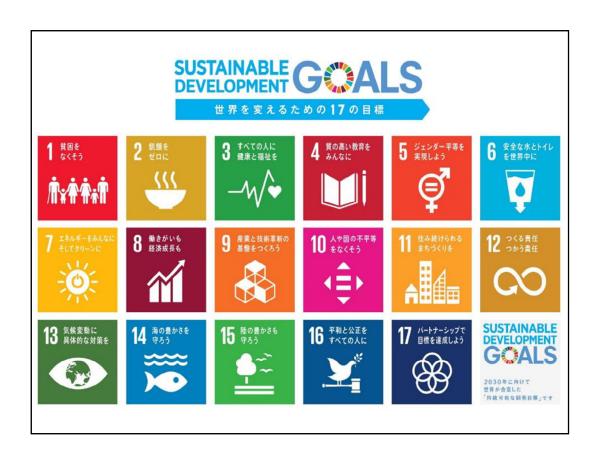


なぜ地理の授業でSDGsを扱うのか?



夏に駿台予備校で行われた地理の共通テスト対策セミナーに参加した。まとめに出てきたのがSDGs。これは、2019年4月に試行テスト地理Aの参考問題として公表されたものの一部。センター試験においてもSDGsは地理の出題テーマであった。しかし、学校での学びは大学受験のためだけではない。より深い学びがあるべきである。



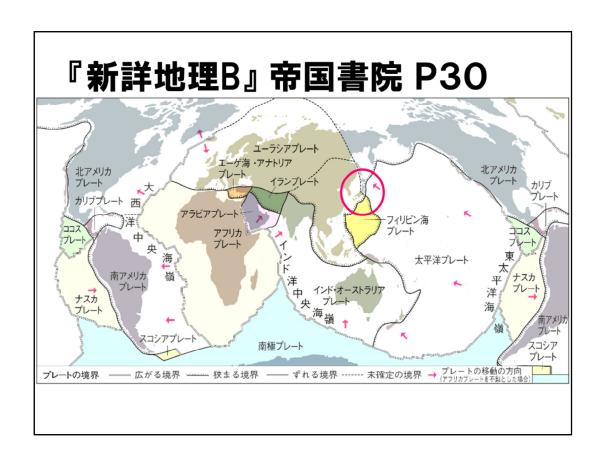
2015年の国連サミットで採択された国際目標。現在では企業もかなり意識している。長野高校生徒はSGH関連の授業で入学時からよく知っている。しかし、教育現場での取り組みは遅れていると言われる。長野高校は最先端。SDGsは遠い世界のことではなくて、その課題はもっと身近にあり、取り組まなければ社会の存続にも関わるものだ。

# How can you help people in developing countries effectively?

なぜ日本とは関わりのない開発途上国を支援する必要があるのかという考えを持つ人 もいる。

## 2011年 東日本大震災 日本は世界から 支援された

この時の日本は世界中から支援される側だったことを忘れてはならない。

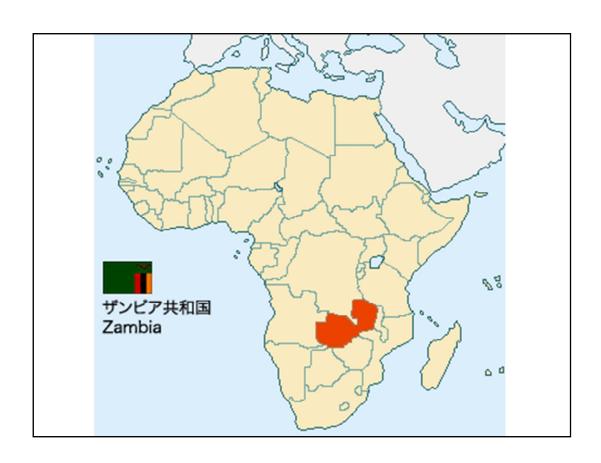


日本において、地震・津波の発生は避けられないものである。

2019/9/28 本日のテーマ:

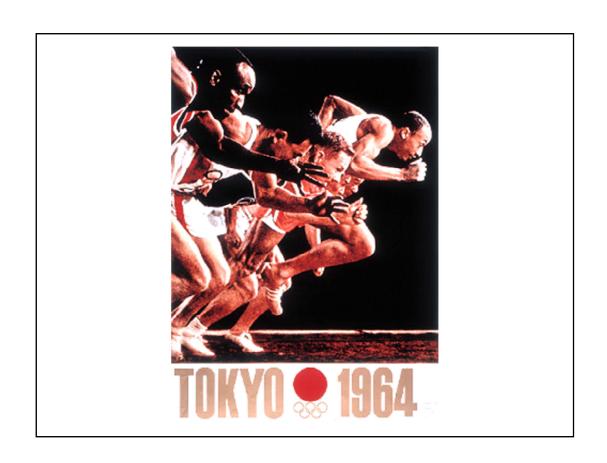


What kind of country is Zambia?



#### イギリスから独立

### 1964年10月24日



1964年東京オリンピックの閉会式の日に独立。閉会式に「ザンビア」として参加。



コンゴ民主共和国とザンビアの国境地帯にカッパーベルトがあり、ザンビアは銅の産出国。



ザンビアの空港。新空港を中国からの借金(日本円で約200億円)で建設中



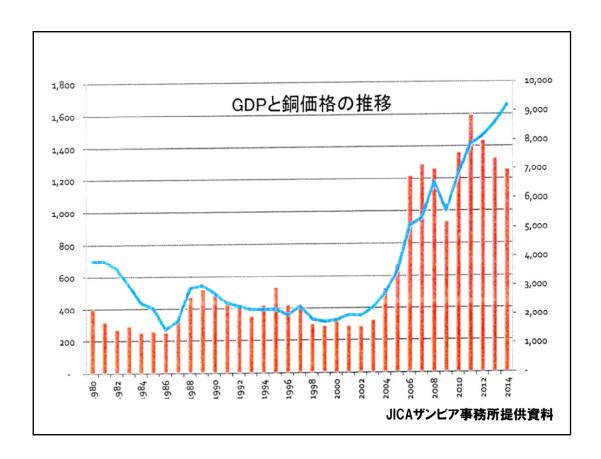
ルサカのショッピングモール。現代的な映画館。



ルサカのショッピングモール。現代的な建物であるが、エスカレータが稼働していない。



JICAザンビア事務所広報のリリアンさん。首都ルサカの女性たちは美意識の高い人が多く、おしゃれな服装やヘアスタイルを楽しむ。ルサカでは民族衣装チテンゲを身に付けた女性があまり見られない。リリアンさんは、月に1度ネイルサロンに通っている。



銅の国際価格の上昇は、ザンビアの急速な経済発展をもたらした。



ザンビアの経済発展と切っても切れない関係にあるのが中国。在ザンビア中国人は2 00万人以上いると言われ、至るところに中華料理店がある。







『新詳地理B』帝国書院 P275 (アフリカについて) 近年では、資源確保の目的から 中国の進出が著しく、 経済・政治の両面で結びつきが 強まりつつある。



日本では、人口減少が進む一方であるが、人口が増加し、著しい経済成長を遂げる国がある。日本の企業もそうした国に市場を拡大する必要がある。そのように考えると、社会人となったとき、現在は聞いたこともない国で働くことになる生徒も少なくないはずである。

# 実は近いザンビア?

写真はザンビア大学獣医学部キャンパス。設立から北海道大学と30年来の関係。北海道大学への進学を希望する生徒も少なくない。北海道大学に進学し、将来はザンビアで研究している生徒もいるかもしれない。

Main Question

☆ザンビアの課題を知ることが
なぜ日本の課題解決に役に
立つのか?

#### 福足說明













- ・モノカルチャー(教科書P164)
- ・水力発電 97%(データブックP278)
- ・ザンベジ川 カリバダム(資料集P88)



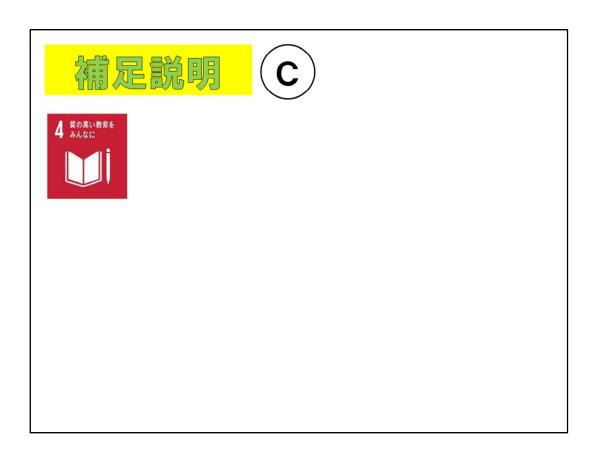


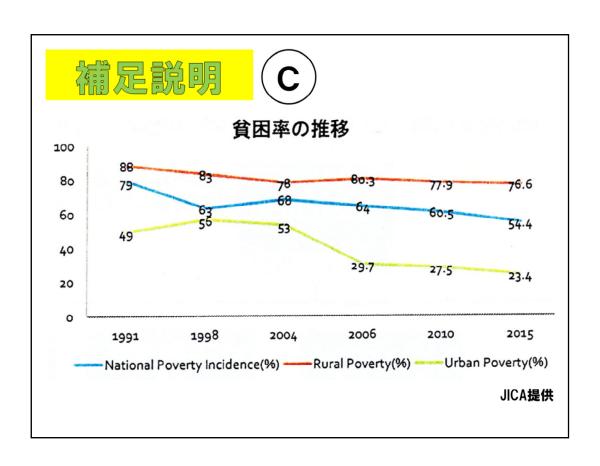


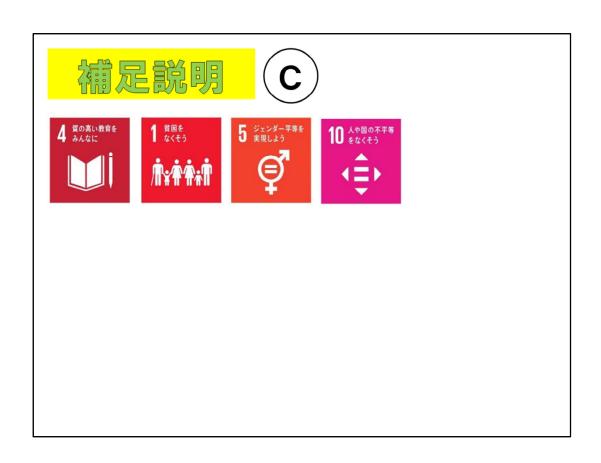




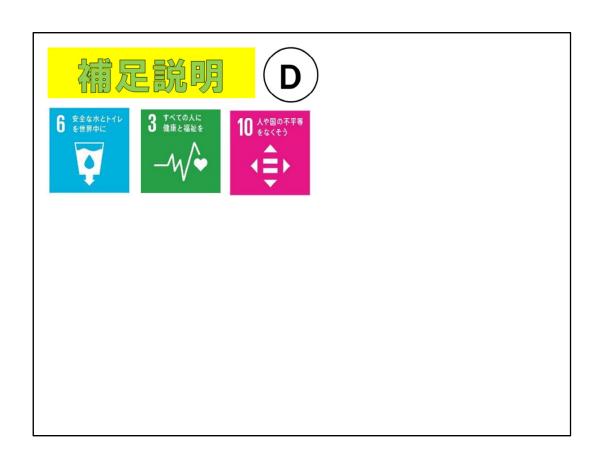
- ·輸入代替型工業(教科書P142)
- ・産業革命 ⇒ 工業化
- ・国の経済成長 ⇒ 輸出指向型工業





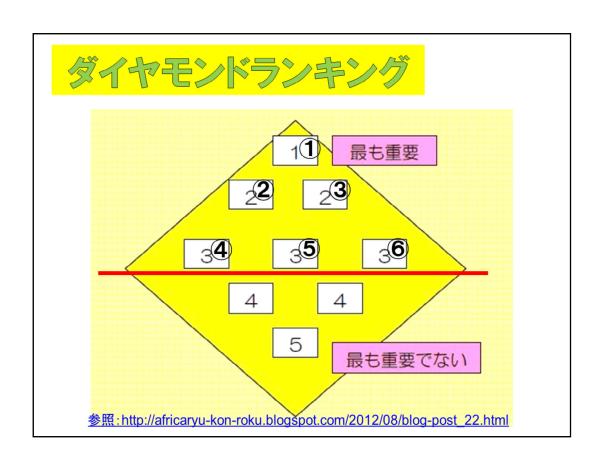








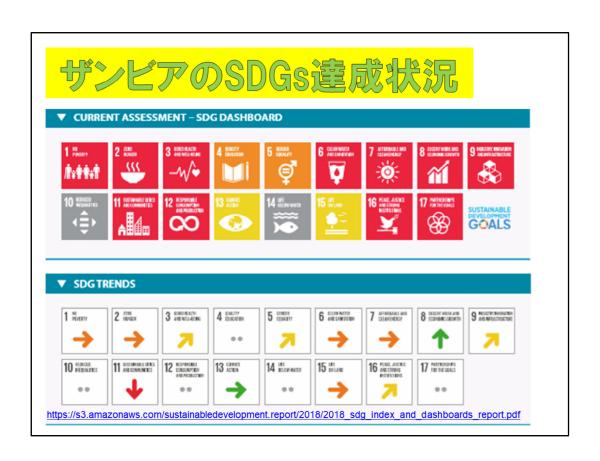




ザンビアのSDGs違成状況

2018年

129/156



日本のSDGs達成状況

2018年

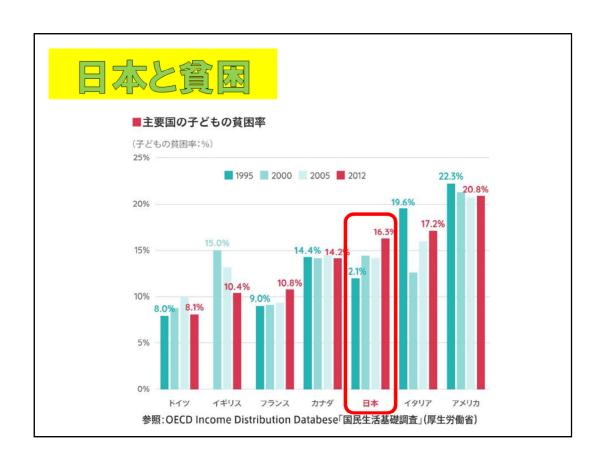
**1 5**/156



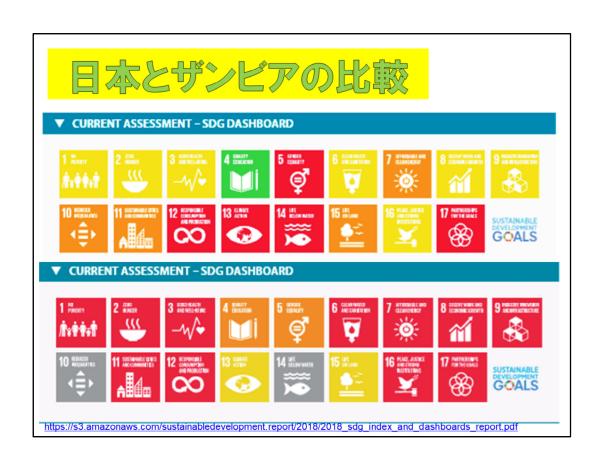
#### 2018年 各国のGDP

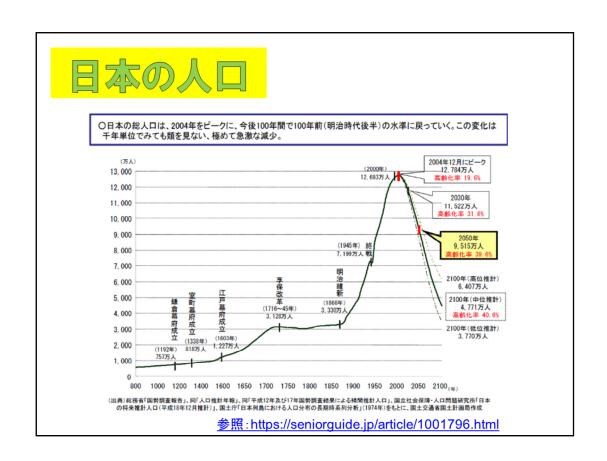
名称	単位: 10億USドル	前年比	地域	推移
<b>アメリカ</b>	20,494.05	<b>→</b> -	北米	~
四 中国	13,407.40	<b>→</b> -	アジア	~
■ 旦本	4,971.93	<b>&gt;</b> -	アジア	~
<b>ドイツ</b>	4,000.39	<del>-</del>	ヨーロッパ	~
₩ イギリス	2,828.64	<b>↑</b> +1	ヨーロッパ	~
	<ul><li>■ アメリカ</li><li>■ 中国</li><li>■ 日本</li><li>■ ドイツ</li></ul>	アメリカ       20,494.05         中国       13,407.40         ・日本       4,971.93         ・ドイツ       4,000.39	■ アメリカ  20,494.05 → -  13,407.40 → -  14,971.93 → -  17.7ツ  4,000.39 → -	■ アメリカ  20,494.05 → - 北米  中国  13,407.40 → - アジア  ● 日本  4,971.93 → - アジア  4,000.39 → - ヨーロッパ

参照: https://ecodb.net/ranking/imf\_ngdpd.html



ザンビアには家に電気も水道もない人たちがいる。栄養不足人口も多い。(分け与える文化があるため、腹水がたまっているような子どもはいない。)コレラが蔓延すれば病院すら行けずに亡くなる人もいる。ザンビアでの生活は、日本での生活と比較すると「死」の確率が高い。流産する確率も乳児死亡率も地方ほど高い。しかし、そういう人々は死を受け入れるのも早い。国土が広く(日本の約2倍)都市には豊かな生活があることを一生知らずに死んでいく人もいる。日本はどうだろか?





少子高齢化はますます進行し、日本では人口減少は避けることができない。歴史的に も今までにはなかった時代が到来する。現在抱える課題を解決していかなければ、将 来の日本はどうなるのだろうか。 Main Question

☆ザンビアの課題を知ることが
なぜ日本の課題解決に役に
立つのか?